

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題1	医師確保計画について、産科、小児科だけが個別に記載されているが、その他の科もいろんな意味で医師不足だと思うし、働き方改革の開始も踏まえた上での計画なのか。	来年度から始まる働き方改革で医師の勤務時間が制限されるため、必要となる医師数は増加をしないという事実をきちんと踏まえた上で、医師の将来的な需要をはじいていただくように、国に対しては常日頃から要望してきている。実際の指標や医療需要は、国の方で算出したものが県に来るが、そういった中ではこの医師の働き方改革の影響は加味された結果であると考えている。 また、医師全体の数ということを除けば、診療科別に今回出しているのは小児科と産科になる。一方でご指摘があるように、医師少数県であることに起因し、大半の診療科が医師不足である。医師確保計画は、医師偏在指標は、分娩取扱医師数と小児科医師数の分しか算出されず、そういった中で計画策定をしてきているが、それ以外の診療科についても、大半の診療科が医師不足にあるという現状認識のもとで今後とも医師確保の施策を進めて参りたいと考えている。
2	議題1	現状を見ていると、特に民間病院は本当に医師不足で、また働き方改革があると、なお一層それに拍車がかかるのではないと思う。国の指示かもわからないが、やはり岐阜県独自の考え方というものを強く押し出していく必要があるのではないと思う。	
3	議題1	岐阜大学医学部地域枠と自治医科大学における、地域医療というものの役割の担い方は、何か差があるのか。	地域枠は、例年、28人の枠で運用している。自治医は、近年、3名ということで医師を頂いている。 現在の地域枠の配置については、知事指定医療機関での勤務として、岐阜圏域以外を指定している。 一方で自治医科大学の医師については、へき地の診療所を基本としており、地域枠よりもさらにへき地に寄った形に重点化して勤務をしていただいている、という状況である。
4	議題1	自治医科大学の3名について、岐阜県の人口を考えると多いと思うが、多分、自治体側に費用負担というのが発生すると思う。言い方が失礼であれば申し訳ないが、自治医科大学と地域枠のコストパフォーマンス、自治医科大学に行くよりは、地域枠を充実させたほうが、コスト的には有用な税金の使い方ではないかと思っているがどうか。	一概にコストパフォーマンスというようなお答えについては今回この場では難しいが、岐阜大学の地域枠は医師多数圏域である岐阜圏域以外の、医師少数圏域などで勤務をしていただくことになっている。一方で、へき地というところまでいくと、地域枠の中でそこまで行っただけの方が、なかなかいない状況の中で、自治医科大学は、そこを埋めていただく貴重な戦力だと思っている。医師少数県である本県としては、どちらも重要な仕組みとして、是非とも今の現状を維持して参りたいと考えている。
5	議題1	自治医科大学の費用負担について、岐阜県にどのような負担が発生しているのかということ、また何か機会があったら、教えていただきたいと思う。	ご指摘のとおり、自治医科大学の負担金について、例年、支払いが生じている。またご報告の機会を作りたいと思う。

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
6	議題1	主な医師不足の施策ということで、岐阜大学の地域枠と自治医科大学を利用するということだが、他には、何か施策を考えていないのか。地域枠でも必ずそのとおりにしてくれない人もおり、訴訟沙汰になったりといったこともあるようだ。地域枠だけに頼っていると、難しい面があると思う。専門医制度の東京都のシーリングの中で、岐阜県が特別地域枠の対象になったという話を聞いた。決定打ではないが、そういうようないろんな、情報、方策をさらに考えた方がいいのではないかと思う。	地域枠や自治医の確保は、主要な施策であるが、今ご指摘があった専門医の件も含め、初期臨床研修医、それから専門医の確保というところでも、研修する地域を選ぶ上で、研修医の先生方、専攻医の先生方に岐阜県で研修を行っていただくように目を向けていただくためのPR事業など、こういった取り組みは別途行っている。 また、専門医研修におけるシーリングに引っかかった方がどこで研修をするかという中で、岐阜県が選ばれているというような状況変化も、常にアンテナを立て、医師確保につなげるように努力はしていくが、これまで東京都等の医師多数県でシーリングに引っかかった方がどこに行くかという、首都圏の東京以外の県で研修をする方が大半で、なかなか岐阜県のようなところまで来ていただける機会がまだまだ少ないということもある。そういったところを踏まえ、各病院のご協力を得て行っている合同説明会などの取り組み、努力を引き続き続けていきたいと思っている。
	議題1	今ご説明あったのは、よく大学なんかで分院を東京都外で持っており、シーリングにかかった人を都外にという話だと思うが、それとは違う特別地域枠の指定だと思うので、ちょっと調べて教えていただければと思う。	精査させていただく。
7	議題1	医師少数スポットについて、西濃地域と飛騨地域が不足地域だが、西濃と飛騨で事情が違う。特に西濃地域では少数スポットがあって、例えば大垣市と、郡部の少数スポットの対策は別に考えないといけないと思うがどうか。	西濃圏域と飛騨圏域は全体が医師少数圏域のため、医師少数スポットの設定自体がない。全体的に医師不足というところはあるが、大垣周辺の平野部と、揖斐を中心とするへき地、飛騨の方でも旧高山市街と、そこから大きく広がる旧郡部、この辺りは状況が全く違うというところは私どもとしても、重要な観点であると思っている。いただいたご意見も踏まえながら、これから施策の方を検討し、進めて参りたいと考えている。
8	議題1	医師少数スポットの話だが、その中に白川町が含まれるのではないかと考えているがどうか。可茂医師会の中で見ると、医師は足りてると言われるが、郡部では足りておらず、非常に医師は少ない地域になる。岐阜県としても美濃加茂市と加茂郡を別にしたいと思うがどうか。	同じ圏域の中でも、特に中濃は圏域自体が広く、市街地を中心とする部分と山間へき地まで含んでいる圏域である。そういった状況の中で、かなり違いがあるというご指摘は承っており、さらに細かく区分、分析することについて、県としても研究を行い、国の方に問い合わせもしたが、あくまでも二次医療圏単位で医師偏在指標等を算出するのが医師確保計画であって、現行の二次医療圏単位で策定をというのが国の回答であった。そういった部分については、医師確保計画の中でさらに各論として、個別に認識をしながら事業等を進めて参りたいと考えている。
9	議題2	前回、長良医療センターについては、病院側は意向ありで基準を満たさない、ということだった、今回はどうか。	前は紹介率と逆紹介率の基準が1ヶ月の数値を用いて出されたもので、基準に達しなかったが、今回は9ヶ月分のデータを用いてみたところ、紹介率逆紹介率については満たしていたという結果が出ている。

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
10	議題2	<p>いろいろな会議でたびたび質問をしているが、地域医療連携推進法人は、県は地域医療構想とリンクして推進するつもりか。総論では反対はないが、何となく、頭越していろんなことが進んでるような感じがする。そういう形で、地域医療構想を推進するということがよろしいか。別にクレームをつけてるわけではなく、そういう方向なのか、ということをつたびたび質問しているが、なかなかはっきりしたご回答がない。</p>	<p>地域医療連携推進法人に対する県の姿勢について、地域医療連携推進法人は機能強化、連携強化に係る1つの手法であり、この部分を積極的に行うべきかどうかという部分については、まさにこの地域医療構想等調整会議でご発言、ご議論いただきたいと考えている。これが非常に有効な手段に該当するというご判断がされればその部分については県としても、認可をしていくという形になる。また、こういった医師の不足という部分が見られる地域に対して医師を派遣いただく、人の支援をしていただけるという部分について、県として反対するものではない。</p>
11	議題2	<p>県に何回質問してもそういうご回答しか返ってこない。他県の状況を聞くと、かなり岐阜県は前のめり、という印象を言われる県もある。反対とか賛成とかではなく、その辺のことははっきりさせていただきたい。</p> <p>地域医療構想等調整会議の議題として上がっているということは、これやっぱり県も推進したいのかなというふうを考える。それについて逆らうつもり全然ないが、そういう曖昧なことではなく、地域医療連携推進法人でかなり効果があったので県もプッシュしたいとか、そういうスタンスをはっきりして欲しい。</p>	<p>地域医療連携推進法人については、今回が2つ目の申請という形になっている。先ほども資料の中でご紹介があった、北部ネットの事例については、我々も全国的にも誇れる素晴らしい仕組みだと思っている。ただ、繰り返しになって恐縮だが、地域医療連携推進法人による手法を選ぶか選ばれないかというのは、各法人、各病院の、意向に沿うもので、意向がないと成立しないものである。その部分について、県から積極的にこれを使うんだということを示すのもなかなか難しいことであろうと考えている。各法人、各病院がどのような手法を選ばれるのかは、その各々の結びつきの中で地域医療連携推進法人を選ぶ可能性もあるし、そうでない、もっと別の形を選ぶこともある。そういった自主性を踏み越えてまで、県としてこれを推進するべきだという姿勢は持っていない、とご理解いただければと思う。</p>
12	議題2	<p>どうも岐阜県が進めているプロセスが、ちょっとなし崩し的に話が進んでるような感じがしている。そこについてちょっと違和感があり、もう少しはっきりした回答をいただきたいと思って、申し上げているだけで、このシステムそのものについて、とやかく言うつもりはない。</p> <p>ただそのプロセスがどうもちょっと頭に入らないので、県としてどういう考え方をしているのかということを知りたい。</p> <p>地域医療推進法人がスタートした頃から、たびたび質問をさせていただいているが、今ご回答いただいた以上の回答が全然ない。それでも法人自体はすごく成熟してきており、どうしてもちょっと齟齬を感じる。例えば、法人だから介入できない、それはそうだろうけども、県としてはやっぱりどうなのかなって思う。議題にここで特別上がってきて、説明していただいて、そういうことの情報提供が、例えば精神科病院については十分にできていない。</p>	<p>どうしても行政側なので、煮え切らない説明、先生が納得いかない言葉かと思うが、やはり何とんでも、これから人口は減っていき、医療の量・質がだんだん低くなっていくなかで、連携や機能分担は絶対必要なことだと思っている。そのため1つの手段なので、それが良しとなれば喜んで推進していくべきだと思っているので、ご理解いただければと思う。</p>
13	議題2	<p>はじめは、地域医療連携推進法人があり、何かやりやすくなるのか、というぐらいの話だったのが、地域医療構想という政策に沿うという話になってくる、いつからそうなったのかと思う。そこのところに違和感を感じる。</p>	<p>とにかく、連携、役割分担の方向性、で進むのであれば、何だって使っていくというのが県の立場である。</p>

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
15	議題2	地域医療構想について、民間活力を利用するというようなことだろうと思う。その辺のことをなし崩し的に、県の方としても推進するのかわからないのか。ニュアンスだけではなく、やはりこれも有効な手段だと別に僕は言ってもらっても構わない。ただ、何となくなし崩しみたいな感じで、特に精神科がちょっと特別なスタンスなので、どうもちょっと情報が入ってこない。その間に、非常にたてつけがしっかりしてきて、プロセスが納得できないところがある。民間活用としてはいいことだろうと思うので、逆にもう少しはっきり、県の方もこういうことなんだ、と説明していただけたらありがたいと思う。	県としてはしっかり説明できること、アピールできることはしていきたいと思う。
14	議題2	どういうことで連携するのかわかるとが、皆さんの中に、出来上がっていないようなので、もう少し、ご説明をいただきたい。	具体的に、すぐ始まるのは、1日半日といった単位での医師、薬剤師、看護師の派遣である。美濃病院と海津市医師会病院が必要としていることを真っ先にやる。ただ、どれだけ必要か、何日必要か、具体的に行き来して、内情をお互いに理解しあわないとできない。患者さんに関しては、手に負えない、ちょっと大変な患者さんを松波総合病院で引き受けて、こちらで治療することになることは一部あると思う。具体的に、何曜日に、何の人を出すか、という話に関しては、現実問題、もっとお互い調整しないといけないので、そこはまだやれてない。(松波総合病院)
16	その他	西濃の2つの病院が新たに1つとなり、岐阜の近くに開院した。病院が開院したことによって、地域がどんなふうに変ったのか。その前の病院がどんなふうに変ったのか、きちんと検証しないといけない。病院の再編はこれから次から次と起こってくると思う。その時にどういうことが起こるのかということの、予測がある。医師会として、それから看護協会として看護師がどう動いたかなど、きちっと検証しておいていただきたい。医師会も開業医の方への外来がどう変わったのか、病院は病院でどういうふうに変ってきているか、その辺を検証しておかないといけない。県庁が音頭を取るのか、なかなかそれも難しいのかもしれないので、地域の医師会の先生が動きやすいかとも思う。	やり方など、医師会様、看護協会様とご相談させていただき、機会をとらえてご報告させていただきます。

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
15	アドバイザー	<p>今回は岐阜、西濃、中濃との合同会議となった。地域医療連携推進法人の話題、また、西濃厚生病院が新しく移転したことなど、医療圏を超えた議題が上がっていた。このことに関して患者様の動き、また、救急医療の体制、在宅医療への流れも医療圏を超えて、今後変化があると考えらる。その中で、大事なことは、それぞれの医療機関が、機能分担、それからお互いの連携、協力、助け合うことが最も大事なのではないか、と考えており、そのための会議が、この調整会議ではないかと考えている。</p> <p>岐阜県においては、今ある少ない医療資源を大切にいただき、またそれを生かす形で、連携や分担、協力、それから助け合いができるようにしていただけると良いのではないかと思う。</p> <p>ただ、この中で、それぞれの医療機関、それぞれの医療法人の自由裁量権というものや、自主性の尊重というものは守っていかねばいけないと思うので、行政が強要ということをしていくことは、いけないということは当然のことである。</p> <p>岐阜県全体での医療レベルの確保をするため、岐阜の医療を守るために、全体的な視野を持っていただくことが必要だと思うので、競争ということよりも強調を進めていただけるとありがたいと思う。</p> <p>皆様の知恵をたくさん出していただき、より良い方向に行けるように、お願いしたいと思う。</p> <p>第8期岐阜県保健医療計画においても、国の計画だけではなく、ぜひ県の方には、岐阜県独自の考え方、岐阜県に合ったアイデアというのを出していただいて、この計画を進めていただけるとありがたいと、行政の方に最後をお願いをしたい。</p>	
17	アドバイザー	<p>今日は会議で次の第8期保健医療計画についてご説明があった。非常に県内外の各施設の方々の期待感というのは十分、理解しているが、定員を増やすイコール人材育成というところになかなか繋がらない部分と、やはり18歳人口など人口の変化というところで、医学部の授業自体にもついていけるような学生を確保したいというところもあり、その辺を含めて、また大学もやっていきたいと思う。</p> <p>また各連携病院においても、医学部医師教育においても、様々な面でまたご協力いただくところもあるので、また引き続きご指導のほどよろしく願います。</p>	